

株主のみなさまへ

第188期 中間報告書

(平成25年4月1日～平成25年9月30日)



〈曹洞宗 大本山 永平寺〉

福井県にある永平寺の傘松閣(さんしょうかく)は、2002年の「道元禪師750回大遠忌」記念事業の一環として2年の歳月をかけて完成したもので、156畳敷の大広間の格天井には日本画の大家144名による230枚の色鮮やかな花鳥彩色画がはめ込まれています。

豊かな心で 未来をひらく



日本ペイント株式会社

Basic & New

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は2009年度より「サバイバル・チャレンジ」に取り組んでまいりました。

まず、2011年度まで3年間「ステージ1」で利益体質への転換をはかり実現してまいりました。

「ステージ2」(3年計画)は、確固たる利益体質の定着をめざす一方で、2015年度からの「ステージ3」で世界のトップメーカーと肩を並べるための準備期間と



代表取締役社長

酒井健二

位置づけています。「ステージ2」もこの上期で折り返し地点ですが、今までの取り組みにより財務体質が改善したことからこれまでできなかった当社の企業価値を向上させるための施策を実行に移しております。その代表的なものにつきましてご紹介させていただきます。

○自己株式の取得と今期中間配当について

財務戦略の一環として、この9月に現在の発行済株式の約1.5%にあたる株式を総額約60億円で取得いたしました。この自己株式の取得により、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行が可能になるとともに、新たな成長戦略を描くことも可能になったと認識しております。

また、従来「安定的な配当」を実施方針としていましたが、業績が順調に推移していることから、当期から
(次ページに続く)

中期経営計画の位置づけ

サバイバル・チャレンジ		
ステージ1	ステージ2	ステージ3
2009～2011	2012～2014	2015～
助走期間	ホップ	ステップ～ジャンプ
利益体質への転換 ～当たり前の会社～	確固たる利益体質の定着 ～成長企業への転換～	利益の拡大 ～世界のトップメーカーと 肩を並べる～

自己株式の取得概要

- 取得期間
2013年9月2日～9月6日
- 取得株数
394.2万株
- 取得価格の総額
59.9億円
- 取得理由
 - ・当社グループの資本効率の向上のため
 - ・将来の機動的な資本政策に備えるため

「業績に応じた利益配分」を行う方針に変更しております。当期の中間配当につきましては、すでに公表通り1株当たり8円とさせていただいております。

近年の配当推移について以下に掲載しておりますので、合わせてご参照いただければと存じます。

○当社グループの人材戦略

将来の当社を取り巻く環境の変化を見据えて、当社グループでは人材育成や組織の活性化を狙いに、これまでにない取り組みを始めました。

一つ目は「グローバル人材の育成強化」です。具体的に申し上げますと、国内で公募した30代の人材から4人を選抜し、ウットラムグループ(シンガポール)と展開するアジア各地の合弁会社に、来年1月をめどに派遣します。狙いは、現地の文化や商習慣を身につけ、将来現地でマネジメントができる人材を育成することにあります。企業の成長を担う海外人材の育成により、グローバル

企業としての基盤作りをしていきたいと考えています。

二つ目は「女性チームの結成」です。今春、住宅内装用塗料の新規需要の開拓に女性スタッフのみの「空間デザインチーム」を立ち上げました。女性ならではの視点を生かして、これまで日本になかった“塗装文化”を創造する取り組みを開始し、ゼロからマーケティングを展開し、10月には新しい塗料ブランド「ROOMBLOOM」を立ち上げました。

このほか、社員には1週間連続の休暇取得を積極的に促進し、働き方に対する意識改革を進めております。

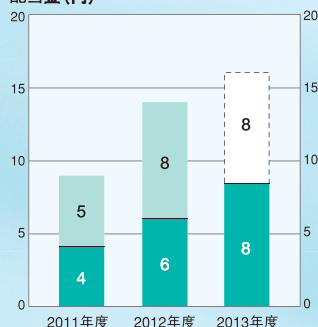
当社グループの第2四半期連結期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の概況につきましては、次ページからの「連結決算の概要」をご参照ください。

株主の皆様には今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

配当金の推移

■ 1株当たり期末配当金
■ 1株当たり中間配当金

配当金(円)



人材戦略の概要

- 人材の育成
若手社員の海外派遣など
- 組織の活性化
女性チームの立ち上げなど
- 働き方の見直し
「ワンウィーク・ホリデー」の開始



女性チームで立ち上げた住宅内装用塗料ブランド「ROOMBLOOM」のショールーム。
(詳細は裏表紙をご参照ください)

連結決算の概要

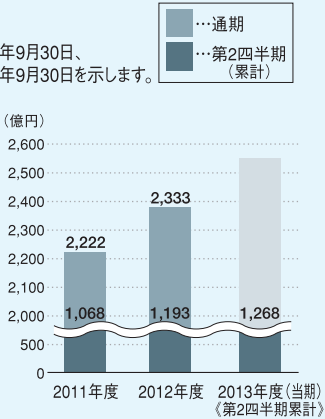
(単位：億円 億円未満の端数は切り捨てております。)

四半期連結損益計算書

前第2四半期は、平成24年4月1日～平成24年9月30日、
当第2四半期は、平成25年4月1日～平成25年9月30日を示します。

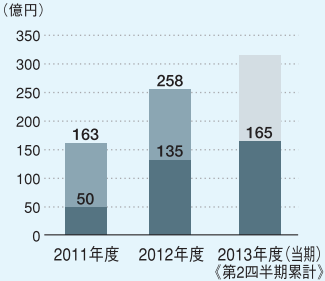
	売上高
前第2四半期	1,193
当第2四半期	1,268

<売上高>
国内では汎用塗料分野が好調に推移し、海外では自動車用塗料の売上高が増加したことなどにより、前年同期比6.3%増となりました。



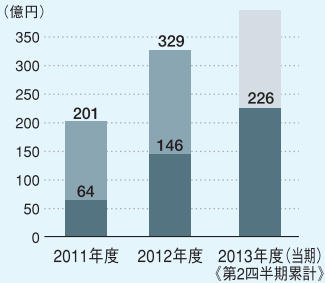
	営業利益
前第2四半期	135
当第2四半期	165

<営業利益>
グローバルレベルで継続して取り組んでいる原価低減活動の成果もあり、前年同期比22.1%増となりました。



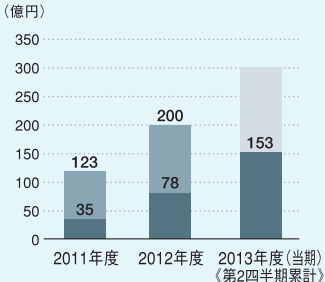
	経常利益
前第2四半期	146
当第2四半期	226

<経常利益>
持分法投資利益が大幅に増加したことに加え、外貨換算差益を計上したことなどから、前年同期比54.9%増となりました。



	純利益
前第2四半期	78
当第2四半期	153

<純利益>
純利益は前年同期比95.5%増となりました。



四半期連結貸借対照表

科 目	平成25年3月31日現在	平成25年9月30日現在
資 産	2,879	2,983
流動資産	1,573	1,532
固定資産	1,306	1,451
負 債	1,159	1,073
流動負債	905	869
固定負債	254	204
純資産	1,720	1,909
株主資本	1,668	1,740
内、利益剰余金	1,123	1,255
負債純資産合計	2,879	2,983

- ・売掛債権やたな卸資産は増加しましたが、法人税や配当金の支払い、借入金
の返済や自己株式の取得などで現金及び預金が増加したことなどにより流動
資産は減少しました。
- ・株価の上昇などで投資有価証券が増加したことなどにより、固定資産は増加
しました。
- ・借入金を返済したことにより、負債は減少しました。
- ・利益剰余金が増加し、株価の上昇や円安の影響もあり純資産は増加しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期	当第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	101	75
投資活動による キャッシュ・フロー	△26	△29
財務活動による キャッシュ・フロー	△153	△171
現金及び現金同等物 の期首残高	351	427
現金及び現金同等物 の四半期末残高	271	315

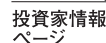
株価推移 (2012年10月～2013年9月)



投資家情報ページのご案内

詳細な財務情報や企業情報に関しては、
投資家情報ページをご参照ください。

click!!



<http://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント

(平成25年9月30日現在)

(平成25年9月30日現在)

本 社

〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2

電話 06-6458-1111

創 業

明治14年3月14日

資 本 金

277億1千2百万円

主要な事業内容

塗料およびファインケミカルの製造・販売など。

発行可能株式総数

1,000,000,000株

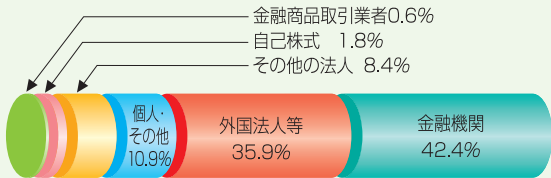
発行済株式の総数

265,402,443株

株主数

10,266名

所有者別分布状況 (株式数比率)



大株主

株 主 名	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
FIRST INDUSTRIES CORP.	38,516	14.77
ナ テ イ ク シ ス	13,001	4.98
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 有 限 公 司 (信 託 口)	12,774	4.89
日 本 ト ラ ス テ ィ ・ サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 有 限 公 司 (信 託 口)	11,488	4.40
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	11,101	4.25
住 友 生 命 保 険 相 互 会 社	10,750	4.12
株 式 有 限 公 司 三 井 住 友 銀 行	9,999	3.83
株 式 有 限 公 司 三 菱 東 京 U F J 銀 行	7,133	2.73
三 井 住 友 信 託 銀 行 株 式 有 限 公 司	7,053	2.70
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 有 限 公 司 トヨタ自動車口	5,109	1.95

(注)1.持株比率は、自己株式4,662,485株を除いて算出しております。
2.FIRST INDUSTRIES CORP.は、当社のアジア地域における合弁事業のパートナーが保有する投資会社であります。

役 員

代 表 取 締 役 社 長	酒 井 健 二
代 表 取 締 役 副 社 長	馬 場 良 一
取 締 役 専 務 執 行 役 員	上 野 裕 章
取 締 役 常 務 執 行 役 員	西 島 寛 治
取 締 役 上 席 執 行 役 員	利 光 哲 也
取 締 役 上 席 執 行 役 員	石 原 良 治
取 締 役 上 席 執 行 役 員	中 村 英 朗
取 締 役 上 席 執 行 役 員	三 輪 宏 学
取 締 役 上 席 執 行 役 員	田 堂 哲 志
常 勤 監 査 役	森 田 俊 明
常 勤 監 査 役	桑 島 輝 昭
社 外 監 査 役	小 原 正 敏
社 外 監 査 役	清 水 正 裕
社 外 監 査 役	高 橋 司

株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	6月中
単 元 株 式 数	1,000株
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区 伏見町三丁目6番3号 フリーダイヤル 0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行う。 http://www.nipponpaint.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。